

1 団 体 名	東松島〇〇地域交流サロン		団体名、事業テーマ、事業名、事業内容を記載してください。
2 事 業 テ ー マ	まちづくりの方向性 3-2 地域と一体になった豊かな心の育成と生涯学習の推進		
3 事 業 名	東松島〇〇地域交流サロン		
4 事 業 内 容	実施日時	令和6年6月1日～令和7年2月28日の間に全11回	
	実施場所	〇〇市民センター	
	参加者数	延べ300人（詳細は別添のとおり）	
	内 容	月に1回のペースで地域交流サロンとして健康体操教室やレクリエーション、講座などを開催した。また、年2回のイベントを実施した。	
5 事業の実績・成果	実施事業が複数回にわたり、記載欄が不足する場合は、別添資料等でそれぞれの実施日時・参加者数を報告してください。 事業の実施期間を記載してください。（事業の準備期間や精算にかかった期間も含まれます。） 月1回のペースで計9回の交流サロンと2回の交流イベントを開催し、のべ300人程度の参加者があった。交流サロンでは、1回あたり平均15人程度の参加があり、幼児や児童をはじめ、その親世代や70歳以上の地域住民の参加もあった。サロンの開催内容に左右されることもあったものの、幅広い年代の参加者があり、多世代が交流できる場の創出ができた。特に若い世代がイベントを通して交流サロンや地域活動に興味を持ってくれることがあり、当初の目的であった次世代の人材育成の一助になったのではないかと考える。		
6 実 施 期 間	令和6年6月1日 ～ 令和7年2月28日		事業の実績と成果、事業を実施しての課題や問題点を記載してください。
7 事業実施協力団体	・ 〇〇自治会、〇〇自治会、〇〇自治会 ・ 〇〇まちづくり協議会		
8 事業を実施しての課題・問題点	・ 活動内容の周知方法について、チラシの配布やポスターの掲示などの紙ベースでの周知が多く、SNSなどの活用が上手くできなかった。そのため、若い世代からの活動の認知が低く、今後の課題と感じている。 ・ 活動資金について、会費や募金だけで賄うことが難しく、交付金頼りになってしまっている。今後の自立した活動のために、地域の自治会への協賛金のお願いなど、交付金以外の活動資金について検討が必要と考える。		
9 今後の展望	・ この活動の最終目標は、この活動を通して、人々が循環し、つながり続いていき、地域の担い手不足や人材育成につながることである。そのために、まずは継続して事業を続け、この活動をより多くの方に知ってもらい、いずれは市内全体へこの活動が広がることで、東松島市全体として次の世代を育てていく環境づくりができればと考える。		
今後の目標・展望を記載してください。			